

## 今回の合同会議の対象ワクチンに関する死亡報告一覧

平成 28 年 9 月 20 日現在

2 種類以上のワクチンが同時接種された症例について、その組み合わせがわかるよう資料 1~15 の各々に掲載されているものを再掲。

## 1. 今回はじめて報告する症例

No.	ワクチン（ロット）	年齢・性別・ 基礎疾患（持病）	接種日・経過	報告医評価	調査の結果	死亡症例として 報告を受けた日付 調査会評価
1	アクトヒブ （L1506） プレベナー13 （15B03A） テトラビック （4K13C）	5 ヶ月・男	平成 28 年 6 月 6 日接種 接種翌日、心肺停止状態とな り、救急搬送された。搬送先に て、死亡確認。死亡時画像診断 の結果、肺野に異常陰影が認め られ、肺炎もしくは心肺蘇生術 による変化が考えられた。明ら かな死因は特定されなかった。	評価不能	死亡時画像診断の結果 からは、死因は特定され なかった。ワクチン接種 との因果関係は不明で ある。	平成 28 年 6 月 8 日 平成 28 年 9 月 26 日調 査会
2	アクトヒブ プレベナー13 ヘプタバックス テトラビック ロタリックス	4 ヶ月・女	平成 28 年 7 月 4 日接種 接種 15 日後、呼吸が停止した 状態で発見された。搬送先に て、死亡確認。剖検の結果、死 亡原因は不詳とされた。	評価不能	調査中	平成 28 年 7 月 27 日 平成 28 年 9 月 26 日調 査会（報告）
3	アクトヒブ （L1615） プレベナー13 （15F01A）	4 ヶ月・男	平成 28 年 7 月 25 日接種 接種 4 日後、心肺停止状態で発 見された。同日、死亡確認。剖 検の結果、異常は認められなか	評価不能	調査中	平成 28 年 8 月 22 日 平成 28 年 9 月 26 日調 査会（報告）

	ロタテック (L026062)		った。			
4	プレベナー13 (15J01A) アクトヒブ (L1526)	4ヶ月・女	平成28年8月26日接種 接種3日後、鼻出血が認められ、顔面蒼白となった。同日、死亡確認。	評価不能	調査中	平成28年8月29日 平成28年9月26日調査会（報告）

## 2. 過去の合同会議で未評価であった症例

No.	ワクチン（ロット）	年齢・性別・基礎疾患（持病）	接種日・経過	報告医評価	調査の結果	死亡症例として報告を受けた日付調査会評価
5	ロタリックス (AROLB072AA) アクトヒブ (K1668) プレベナー13 (14G01A) クアトロバック (A023C) ビームゲン (Y084A)	14週・女 腸回転異常症（剖検結果にて判明）	平成27年8月25日接種 接種翌日、発熱、咳嗽、鼻汁、咽頭発赤が認められ、感冒薬を処方された。 接種2日後、嘔吐、顔色不良、意識障害が発現し、心肺停止状態となった。搬送先にて死亡確認。剖検の結果、腸回転異常症に伴う中腸軸捻転の存在が判明。小腸から上行結腸にかけて広範囲に壊死が認められ、死因は中腸軸捻転とされた。	評価不能	剖検の結果、腸回転異常症から中腸軸捻転をきたし、死亡したと考えられた。ワクチン接種との因果関係は否定的である。	平成27年9月29日 平成28年2月12日調査会（報告） 平成28年9月26日調査会

6	プレベナー13 (14J01A) アクトヒブ (L1228) ヘプタバックス (9KR06R) ロタテック (L007247) テトラビック (4K11B)	3ヶ月・男	平成28年2月9日接種 接種翌日、呼吸をしていない状態 で発見され、救急搬送された。 搬送先にて、死亡確認。 剖検の結果、明らかな死因とな りうる肉眼的損傷や病変は認め られなかった。死後の血液検査 では異常は認められなかった。	評価不能	剖検の結果、異常所見は認めら れておらず、得られた情報から は死因は不明。ワクチン接種と の因果関係も不明である。	平成28年2月18日 平成28年5月23日調査会 (報告) 平成28年9月26日調査会
---	---	-------	---	------	--	--

### 3. 過去の合同会議で審議済であるが、新たに情報が得られたため、再度評価を行った症例

No.	ワクチン (ロット)	年齢・性別・ 基礎疾患 (持病)	接種日・経過	報告医評価	調査の結果	死亡症例として 報告を受けた日付 調査会評価
7	アクトヒブ (K1492) プレベナー13 (14C05A) クアトロバック (A020B) ビームゲン (Y081A)	5ヶ月・男	平成27年4月22日接種 接種翌日、 <u>うつぶせで</u> 、心肺停 止状態で発見。搬送先で死亡確 認された。 解剖の結果、 <u>致死的になり得る 異常所見は認められなかった。</u> <u>発見時の状況を考慮すると、内 因死としては乳幼児突然死症 候群、外因死としては鼻口部閉 鎖や胸郭運動制限による窒息 死等の可能性があると考えら れた。</u>	評価不能	発見時の状況及び剖検 結果から、乳幼児突然死 症候群や窒息により死 亡した可能性が考えら れた。ワクチン接種との 因果関係は不明である。	平成27年4月27日 平成28年2月12日調査会 平成28年9月26日調査会